

甲第143号証の4

ISBN4-00-430171-8

C0236 P580E

定価580円(本体568円)



9784004301714



1910236005801



在日外国人

田中 宏著

岩波新書



17

580



七万余に達している在日朝鮮人は約一〇万(表Ⅷ-3参照)。その職業別分類を見ると「商業を中心とした生業的渡航」が中心となっている。台湾についても事情は同じであろう。一方、在日朝鮮人数は、一九一〇年統計は欠けているが、一九〇九年が七九〇人、一九一二年でも二五二七人にすぎない(一章の表Ⅰ-1参照)。前に見た移民も含めて、おびたしい数の日本人が、日本の外で生活の糧を求めていたことがわかる。

そして、以降も一貫して在日朝鮮日本人数の増大がつづくが、ちょうど一九三五年を境に、初めて在日朝鮮人数の方がそれを上まわることになる。一五年戦争期に入り、やがて中国への全面侵略戦争に突入り、国家総動員法が制定(一九三八年)されると、朝鮮人、中国人に対するいわゆる「強制連行」という手段をとった労働力移入政策が敢行される。

一九三九年七月の「朝鮮人労働者内地移住に関する件」(内務・厚生両次官議決)、さらに四二年一月の「華人労働者内地移入に関する件」に閣議決定である。在日朝鮮人数はらなきのほりに増大していき、敗戦時には二〇〇万に達していたといわれる。朝鮮人と中国人の強制連行に関する統計(表Ⅷ-4と表Ⅷ-5、を掲げておく(朝鮮人は「帝国臣民」であったかも知れないが、中国人は外国人であったことはいまでもない)。

強制連行について詳しく触れることはできないが、二、三付記しておきたい。当時の図書の

表Ⅷ-4 日本に強制連行された朝鮮人(単位:人)

年	炭	鉱	金	山	土	建	工場	他	計
1939年	34,659	5,787	12,674	—	—	—	—	—	53,120
40	38,176	9,081	9,249	—	—	—	2,892	—	59,398
41	39,319	9,416	10,965	—	—	—	6,898	—	67,098
42	77,993	7,632	13,929	—	—	—	15,167	—	119,721
43	68,317	13,763	31,615	—	—	—	14,601	—	128,296
44	82,659	21,442	24,376	—	—	—	157,795	—	286,472
45	797	229	836	—	—	—	8,760	—	10,622
計	342,620	67,350	108,644	—	—	—	206,113	—	724,727

出典:大蔵省管理局『日本人の海外活動に関する歴史的調査』(1947)。

表Ⅷ-5 日本に強制連行された中国人(単位:人)

産業	業種	事業場数	人員数
土 建	発電所	13	6,069
	飛行場	8	3,428
	鉄道	6	1,575
業	地下工場	6	2,148
	工場	1	580
鉱	鉄	2	666
	石炭	42	17,433
工	銅	9	4,382
	水銀	7	3,077
業	鉄	6	1,387
	他の鉄	5	999
	精	1	132
造船	業	4	1,210
荷役	業	25	8,074
総計		135	51,180

連行数は約4万であるが、事業場間の移動を含む延人数となっている。
出典:『章の基』(新日本出版社, 1964年)。

でいる。

在日朝鮮人と日本人との間に「国籍」の壁があるとすれば、出稼ぎ労働者と日本との間には、それに加えて「国境」が横たわっている。しかし、日本に働きにきた背景、強制送還の手続きなどについて、ひとりひとりの労働者とかかわるうちに、おのずと彼女らの出身国の市民運動と連携をもつことも増えている。

私たちは、いまや経済の不均衡発展、所得格差の拡大などの地球規模の問題——そこには日本の影が大きく落ちる——と、直面せざるをえないのである。日本の国内に「ともに生きる社会」を築くとともに、地球規模で「ともに生きる」視野を持たねばならないことが見えてきたという点で、従来とはもうひとまわり大きな回路が、そこには開けつつあるのではと思う。

オールド・カマーに加えてニュー・カマーを迎えつつある日本は、その歴史認識をたえずとともに、外国人の権利の不可侵性を自覚し、「ともに生きる社会」をめざすために、大胆な発想の転換をはからねばならない時代を迎えているのではないだろうか。そして、それを実現する芽はいくつも育ちつつある。

田中 宏

1937年東京都に生まれる
 1960年東京外国語大学中国学科卒業
 1963年一橋大学大学院経済学研究科修士課程修了
 アジア学生文化協会勤務、愛知県立大学教授を経て
 現在一橋大学教授
 専攻一日本アジア関係史
 著書一「アジア留学生と日本」(共著、NHKブックス)
 「アジア人との出会い」(田原書店)
 「日本のなかのアジア」(大和書房)
 「成実の国際国家・日本」(風媒社)ほか
 訳書一「啓蒙」(さよなら、草食) (共訳、めこん)
 許銀橋・蔡史君編「日本軍占領下のシンガポール」(共訳、青木書店)
 卓南生「国際化日本の壁」(共訳、東洋館新報社)ほか

在日外国人

定価はカバーに表示してあります 岩波新書(新赤版)171

1991年5月20日 第1刷発行 ©
1993年7月5日 第9刷発行

著者 田中 宏

発行者 安江良介

発行所 株式会社 岩波書店

〒101-02 東京都千代田区一ツ橋2-5-5

電話 案内 03-5210-4000 営業部 03-5210-4111

新書編集部 03-5210-4054

印刷・製本 法令印刷 カバー・半七印刷

ISBN4-00-430171-8 Printed in Japan